

令和 7 年度

教育委員会の事務の点検及び評価
に関する報告書

— 令和 6 年度の実績 —

五戸町教育委員会

まえがき

五戸町教育委員会では、町の行政運営の基本方針である「第2次五戸町総合振興計画」に沿って、教育に関わる施策を推進しているところです。

この振興計画に基づき、町教育委員会では、「教育は人づくり」という視点に立ち、「五戸の未来を創造する人と文化を育むまち」を目指し、様々な取り組みを進めています。

本報告書は、このような町教育委員会の取り組みについて、外部の学識経験者などから意見を伺いながら点検及び評価を実施し、その結果を取りまとめたもので、今後の効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすことを目的に作成しました。

町民の皆様には、この報告書によりまして本町の教育行政について、ご理解を深めていただきますようお願いいたします。

令和7年11月

五戸町教育委員会

目 次

点検及び評価の実施について	1
点検・評価対象事業一覧	2
施策4－1 幼児・学校教育	3
施策4－2 生涯学習	20
施策4－3 スポーツ・レクリエーション	31
施策4－4 地域文化の振興	39
参考資料	45

点検及び評価の実施について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運用に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この法律を受け、五戸町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

町教育委員会では、平成27年11月に策定した令和6年度までの「第2次五戸町総合振興計画」に沿って、教育に関わる施策を推進しております。その施策を推進するための主な事業について点検し、教育委員会自ら評価し、課題等を洗い出しました。

(2) 点検・評価の対象

教育委員会の事務事業を総合振興計画の施策ごとに区分し、その施策を推進するための事業を対象としました。

(3) 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客觀性を確保するため、学識経験者を「点検・評価助言委員」として委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容について意見をいただき、これを参考に点検・評価の実施と報告書の作成を行いました。

3 報告書の構成

(1) 全体構成

報告書は、振興計画により4つに分類しそれぞれに施策を立て、各施策に対する取り組む事業ごとに記載しています。

(2) 取組事業の点検

施策を推進するための具体的な取組状況について、主な事業を取り上げ、その事業が適切に実施されているかどうか、その事業の概要・計画・実績を点検結果として記載しています。

(3) 取組事業の評価（点検を踏まえた評価）

各取組事業について、各取組状況の点検結果及び実績を踏まえ、その成果と課題を評価しています。

(4) 施策の総括的評価

各施策について、各取組事業の評価結果を踏まえ、総括的に評価しています。

(5) 点検・評価助言委員の意見

上記について、点検・評価助言委員からの意見を載せています。

点検・評価対象事業一覧

五戸町総合振興計画			主な事業	
第4章 五戸の未来を創造する人と文化を育むまち (教育・文化分野)	施策4 1 幼児・学校教育	1 幼児教育の充実	1 幼児教育相談・就学相談事業	
		2 学校教育の充実	2 学校施設維持管理事業	
			3 特別支援教育支援員配置事業	
			4 語学指導外国青年招致事業	
			5 奨学資金貸付事業	
			6 コミュニティバス通学対応便事業	
			7 G I G A スクール構想推進事業	
			8 海外研修支援事業	
			9 教育支援委員会事業	
			10 教職員の働き方改革に係る取組	
		3 道徳教育の充実	11 五戸っ子宣言実践事業	
		4 食育の充実	12 学校給食地場産物活用推進事業	
		5 家庭・地域と連携した学校づくり	13 学校運営協議会事業	
			14 地域学校協働活動支援事業	
		6 放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進	15 放課後子ども教室推進事業	
		7 子どもの安全確保	- (各学校実施)	
施策4 2 生涯学習	生涯学習	1 社会教育関連施設の充実	- (各施設実施)	
		2 図書館の利用促進	16 移動図書館事業	
		3 生涯学習プログラムの整備と提供	17 町民大学講座事業	
			18 公民館講座事業	
			19 公民館情報紙発行事業	
			20 文化賞・スポーツ賞等事業	
			21 町民文化講演会事業	
			22 町文化協会支援事業	
			23 あいさつ運動事業	
		4 指導者の育成と団体等の活動支援	- (各種事業実施)	
		5 若い世代が参加しやすい社会教育の実施	24 成人式「二十歳を祝う会」事業	
		6 五戸町を深く知る取組の推進	25 好きです五戸町ボランティア運動事業	
		7 学習成果の活用	26 ボランティア活動支援事業	
施策4 3 スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション	1 多様なスポーツ活動の普及促進	27 スポーツ推進委員事業	
			28 生涯スポーツ振興事業等委託事業	
			29 スポーツクラブ育成事業	
			30 スポーツ大会出場祝金事業	
			31 町民運動会事業	
		2 指導者の育成・確保	- (各種事業所実施)	
		3 スポーツを通じた交流の促進	- (各種事業実施)	
		4 スポーツ環境の整備	32 スポーツ施設の管理事業	
施策4 4 地域文化の振興	地域文化の振興	1 保存団体、指導者の育成	33 文化まつり事業	
		2 文化財の保存活動の推進	34 町文化財管理事業	
			35 伝統芸能継承活動事業	
		3 文化財の活用	36 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業	
			37 ごのへ郷土館管理事業	

〈五戸町総合振興計画〉

策略4-1 幼兒・学校教育

- 児童・生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、幼児教育や学校教育の教育環境の充実を図ります。
 - 安全で安心な子どもの居場所づくりに向けて、みんなで子どもを守り育てる社会環境づくりを進めます。

【4-1-1 幼児教育の充実】

【4-1-2 学校教育の充実】

【4-1-3 道徳教育の充実】

- 11 五戸つ子宣言実践事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13

【4-1-4 食育の充実】

- 12 學校給食地場產物活用推進事業 · · · · · P 14

【4-1-5 家庭・地域と連携した学校づくり】

【4-1-6 放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進】

- 15 放課後子ども教室推進事業・・・・・・・・・・・・ P 17

【4-1-7 子どもの安全確保】

※各学校に委ね実施

施策4-1総括的評価、点検・評価助言委員の意見・・・・・・・・ P18

4－1－1 幼児教育の充実

1 幼児教育相談・就学相談事業				
	概要	幼児一人一人の望ましい発達を促し、生きる力の基礎を培うことを目的とし、必要に応じて、医療・保健・福祉等機関との連携の下に、専門的な教育相談・就学相談を受けられる体制を確立する。		
点検	計画	教育相談・就学相談については随時対応し、そのケースに応じて専門機関との連携を図り、本人・保護者に十分な情報を提供する。	実績 幼児就学相談 9 件（教育支援委員会による調査・判定を含む）	
	成果	<p>教育相談・就学相談については、幼児期からの早期の対応が重要であるため、教育支援委員会、健康増進課、福祉課、町内教育・保育施設と密接な連携による情報共有を行い、幼児に必要な対応をとることができる体制を構築している。</p> <p>（備考） 相談事業のほかに、次年度新入学児童及び保護者が安心して入学を迎えるよう、入学前に就学予定小学校の教育活動を見学できるオープンスクールを実施している。</p>		
評価	課題等	発達障がい等の疑いがある児童への対応や就学先の判断等にあっては、確かな専門的知識が必要となり、令和6年度からは、児童の発達検査等に専門的知識を有する臨床発達心理士に検査及び判断を依頼している。何らかの対応が必要と思われる児童は増加傾向にあり、発達障がい等に関して専門的な知識を持つ人材の確保・育成が課題である。		

4－1－2 学校教育の充実

2 学校施設維持管理事業			
	概要	各学校からの要望により学校施設の改修及び修繕を行い、児童生徒が安全に教育を受けられる安全で快適な環境を整える。	
	計画	前年度に実施した学校訪問により判明した修繕箇所や、緊急に必要となる修繕料を予算措置する。	
点検	実績	<p>小学校 【修繕】 五戸小学校 ・五戸小学校昇降機修繕</p> <p>切谷内小学校 ・3階女子トイレ等洗浄管修繕 ・体育館温風暖房機修繕</p> <p>上市川小学校 ・1階女子トイレ及び 校長室手洗排水管修繕 ・1階男子トイレ掃除用流し修繕 ・校舎暖房機修繕 ・講堂照明脱落修繕 ・体育館ボイラー修繕 ・体育館温風暖房機修繕 ・排水（汚水栓等）修繕</p> <p>倉石小学校 ・プール場インバーター交換修繕 ・家庭科室外部排水口蓋修繕</p> <p>【工事】 上市川小学校 ・白蟻防駆除工事</p> <p>倉石小学校 ・ガラスブロック防水工事 ・太陽光発電機器修繕工事</p>	<p>中学校 【修繕】 五戸中学校 ・案内看板修繕 ・バックネット修繕</p> <p>川内中学校 ・通路舗装修繕</p> <p>【工事】 五戸中学校 ・校舎屋根破風板撤去工事 ・校舎暖房機器更新工事</p> <p>川内中学校 ・消防設備呼水槽交換工事 ・キュービクル高圧機器更新工事</p>
評価	成果	前年の10月に教育委員による学校訪問を行い、各学校の要望を把握することで、修繕計画をたて、順次修繕を実施した。	
	課題等	学校の統廃合との兼合いもあるが、財政の許す限り各校適切な維持管理を実施する必要がある。	

3 特別支援教育支援員配置事業				
点検	概要	様々な障害を持つ児童生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動の支援などを行う特別支援教育支援員を必要な学校に配置し、児童生徒の教育の充実を図る。		
	計画	小学校 4 校、中学校 3 校、合わせて 31 人の支援員を配置する。	実績	<ul style="list-style-type: none"> 五戸小学校 10 人 (内 2 人は生活支援) 切谷内小学校 3 人 上市川小学校 3 人 倉石小学校 3 人 五戸中学校 6 人 川内中学校 4 人 倉石中学校 2 人 計 31 人の支援員を配置した。
評価	成果	特別支援教育支援員を必要とする学校に配置することにより、教員の負担を軽減し円滑な学級運営の一助となっている。児童生徒の発達の段階や障害の状況に対応した支援を行い、障害による困難を克服するための教育を行うことができた。学校の要望により令和 5 年度から 5 人増員し、令和 6 年度は 31 人の配置とした。		
	課題等	<p>発達障害等のある児童生徒が増加傾向にあるなか、概ね人材確保できているものの、欠員が出た場合の補充や新たな支援員増員の要望が出た場合の対応が難しい現状である。</p> <p>また、各学校教職員と支援員との連携が不足している学校が見受けられたため、連携強化をしていくためにミーティング等を実施する必要がある。</p> <p>会計年度任用職員制度となったことにより支援員の雇用事務を総務課と連携し円滑に行っていく必要がある。</p>		

4 語学指導外国青年招致事業

点検 計画	概要	国の語学指導外国青年招致事業（J E T プログラム）を活用して、語学指導助手（A L T）となる外国青年を招致し、小・中学校で英語授業の補助をしてもらうことで英語教育の充実を図る。また、国際理解教育の補助をすることで諸外国との相互理解を増進する。	
	実績	・ 人数 3 人 ・ 配置校 7 校 ・ 学校教育以外での英語指導の実施（ボランティア）	・ 人数 3 人 ・ 配置校 7 校（全小中学校） ・ 町内小中学校での授業のほか、町内幼稚園・保育園へ訪問し、ふれあいを通して外国の文化や言葉に対する子どもたちの興味関心を広めた。また、公民館講座で地域住民へ「楽しみながら英語を身に付けて会話ができる！！」ことを目的として英語普及をした。
評価	成果	<p>外国青年によるA L Tの配置により、小・中学生が生の英語に触れることで英語教育の充実を図ることができた。</p> <p>英語専科配置に伴い、A L Tとの効果的な活用を各小中学校の教務主任へ次年度配置に向けたアンケートを行い、効果的な配置ができるよう次年度に向け準備することができた。</p> <p>また、A L Tが夏休み英会話スクールの英語講師として授業を行い、外国の文化や英語に間近に触ることができ町民との交流も図られた。さらに、幼稚園、保育園訪問により、様々な文化や言葉に興味感心を広めることができた。</p>	
	課題等	A L T を有効的に活用した英語教育のさらなる充実に向け、A L T・小中学校担当者間での連携を図っていく必要がある。	

5 奨学資金貸付事業				
点検	概要	五戸町出身の学生及び生徒で経済的理由により就学が困難な者に対して、学資を無利子で貸与して人材の育成を図る。償還期間は、1年据置後から貸与期間の2倍の期間以内とする。		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規貸与者数 高校生 10人 大学生等 15人 ・償還金償還率（現年度分） 95% 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 新規貸与者数 高校生 1人 大学生等 10人 ・償還金償還率（現年度分） 97.8%
評価	成果	経済的理由により就学が困難な者11人に対して新たに貸付を行い、全36人へ奨学資金の貸付けによる支援を実施し、人材育成を図ることができた。		
	課題等	<p>現年度分の償還率については、97.8%となっている。全体の滞納額は過年度滞納者の未納額が増加した。（+275,000円）</p> <p>未納者とのやりとりが十分にできていなかつた部分があつたため、未納者とのやり取りを密に行い、未納者の経済状況などの把握をし、返済に向けた取組みを継続的に行い、未納額の減少に努める。</p>		
6 コミュニティバス通学対応便事業				
点検	概要	学校統合などにより、遠方から通学する児童生徒の通学手段として、学校と該当地区の間に通学のためのスクールバスを業者委託により運行する。		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス運行学校 五戸小学校、倉石小学校、 五戸中学校、倉石中学校、 上市川小学校、川内中学校 	実績	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス運行学校 五戸小学校、倉石小学校、 五戸中学校、倉石中学校、 上市川小学校、川内中学校
評価	成果	スクールバスを計画のとおり運行したことにより、遠隔地の児童生徒が円滑に通学することができた。		
	課題等	利用予定にあるが実際に児童・生徒が全く乗らない場合等の無駄な部分を少しでも無くするために、学校側にもバスについて知つてもらう必要がある。そのためには、各学校バス担当者と密に連絡、情報共有を取り合う必要がある。		

7 G I G Aスクール構想推進事業

概要	<p>児童・生徒に1人1台タブレット端末の配布と高速ネットワークを整備することにより、タブレット端末を授業に活用し、授業の幅を広げることができる。</p> <p>また、ICT教育を行うことにより、これから情報化社会に対応出来る人材の育成を行うことが出来る。</p> <p>第1次G I G Aスクール構想事業において令和2年度に導入し令和3年度より運用開始したタブレット端末は、令和7年度末に耐用年数を迎えるため、第2次G I G Aスクール構想事業において令和7年度端末入替を実施する計画を策定し、同年度末より運用開始をする予定としている。</p> <p>また、令和8年度以降、第1次調達端末の処分を実施し持続的なICT教育を推進していく。</p>		
点検	<p>G I G Aスクール構想を持続的に実現するために下記の経費を計上。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークやタブレット端末の維持に係る使用料、保証料 ・故障した際の修繕費 ・サポート業務を行う業者への委託料 ・教材の著作権料 <p>教員の研修会を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「タブレット活用研修」 講師：文部科学省 学校DXアドバイザー 石井 一二三 氏 ・「eライブラリアドバンス（授業支援ソフト）研修会」 講師：ラインズ株式会社 	実績	<p>維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G I G Aスクールサポート業務委託により、事業の運営に係る維持管理や各校からの様々な問合せに対し、迅速な対応を行った。 <p>修繕について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末内蔵バッテリーの膨張が見られたため、修繕を実施した。 五戸小学校 12台 切谷内小学校 6台 <p>研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画していた研修会のほかに、「まなびポケット研修会」を実施し、3件の研修会を行った。
評価	<p>成果</p> <p>各授業において、ドリルやテストを児童・生徒用端末に送信し、回答を返信してもらうことにより、一斉に答案を回収、評価をできるようになった。また、動画を授業に取り入れられるようになったり、体育等の授業において、内臓のカメラで自分の動きを撮影し、練習に活かせるようになった。研修会の講師を文科省DXアドバイザーに依頼したことにより端末利活用の向上を図ることができた。</p>		
	<p>課題等</p> <p>タブレット端末の有効活用に向けた、教員のための研修会を実施しているが、活用の度合は、担任または各教科の先生の理解度によるところが大きいため、各学校間で差ができることがある。</p> <p>タブレット端末の保守・管理については、経年劣化によるバッテリーの膨張などが原因の修繕が発生したが、令和7年度入替予定のため、現段階では特筆する課題はない。</p>		

8 海外研修支援事業			
概要	海外の学校等での研修を希望する高校生の負担軽減を図るとともに、幅広い視野や優れた国際感覚を持つ次世代を担う才能あふれる人材を育成する。		
	◎募集人員等 • 長期留学 2名、短期留学 3名 • 町内に住所を有し、高等学校又は高等専門学校在学者 • 広報による周知 • 海外研修事業に要する経費の一部を補助金として交付する。 ◎補助金額 ※長期 経費の1/3又は40万円のいずれか少ない額 ※短期 経費の1/2又は25万円のいずれか少ない額		• 町広報誌での周知を実施 • 短期留学の申請… 1件
点検 計画			実績
評価	成果	高校 2年生 1名へ海外研修費用の一部を助成したことにより、幅広い視野や優れた国際感覚を持つ人材の育成に寄与した。	
	課題等	当事業をより一層活用してもらえるよう、いろいろな機会を捉えて周知する必要がある。	

9 教育支援委員会事業				
点検	概要	<p>早期からの教育相談・支援を実施し、就学先の決定やその後の一貫した支援について助言を行うことを目的に、主に以下の8つの機能を担っている。（五戸町・新郷村共同設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障がいのある子どもの情報を継続的に把握する。 ②就学移行期においては、教育委員会と連携し、本人・保護者に対する情報提供を行う。 ③教育的ニーズと必要な支援について整理し、個別の教育支援計画の作成について助言を行う。 ④教育委員会による就学先決定に際し、事前に総合的な判断のための助言を行う。 ⑤就学先についての教育委員会の決定と保護者の意見が一致しない場合に教育委員会からの要請に基づき第三者的な立場から調整を行う。 ⑥就学先の学校に対して適切な情報提供を行う。 ⑦就学後も必要に応じ「学びの場」の変更等について助言を行う。 ⑧「合理的配慮」について助言を行う。 		
	計画	<p>令和6年度 予算額 389,929円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会……4回 ・専門部会…7回 	<p>令和6年度 決算額 377,035円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会……5回 ・専門部会…9回 	
評価	成果	<p>令和6年度は47件の判定を行った。就学時、就学後に必要な学びの場を検討し、個別支援が必要と思われる児童生徒の教育支援を行った。</p> <p>また、幼児については、令和6年度より、幼児発達に高度な専門的知識を有する臨床発達心理士へ検査実施を依頼している。</p>		
	課題等	<p>特別支援教育担当教員や県立学校教員で構成される専門部員の協力により検査を実施しているが、新しい検査方式への移行や検査実施人数の増加により、対応できる専門部員の不足が生じる恐れがある。専門的知識や検査資格を持つ特定の部員に負担が生じないよう、人材の確保・育成が重要となっている。</p>		

10 教職員の働き方改革に係る取組

点検	概要	当町立小中学校に勤務している教育職員の負担をより一層軽減し、長時間勤務の是正を図ることで、教育職員の健康及び福祉を確保し、教育職員が意欲と能力を最大限発揮して、子供たちに効果的な教育活動を行うことができるよう、学校との連携の下、学校における働き方改革に向けて取り組むものである。		
	計画	①在校等時間の上限等に関する規則・方針に沿った学校運営 ②教職員の在校時間把握 ③学校閉庁日等設定 ④スクールサポートスタッフ配置 ⑤部活動指導員配置 ⑥部活動地域移行検討 ⑦学校保護者連絡ツール導入	実績	①校長会で規則及び働き方改革プランの遵守依頼。五戸中学校において県の学校業務改善伴走型支援事業を実施し、教職員自身の参加、立案による業務改善を行った。 ②校務支援システムを管内全学校に導入し、システム起動・終了時刻の記録による客観的な把握に努めた。 ③閉 庁 日：R6. 8. 13～16 (4日間) 閉庁期間：R6. 8. 10～18 (9日間) ④小中学校全7校に計3人配置（複数校兼務あり）。雑用など週15時間以内、年600時間内でサポート。（前年比3校増） ⑤五戸中柔道部、同卓球部、川内中陸上部、倉石中バスケットボール部に各1人、計4人配置。（前年比3人増） ⑥検討協議会1回開催、五戸町部活動地域移行計画R7. 3. 25策定。 ⑦小中学校全7校に学校保護者連絡ツール「テトル」導入
	成果	各種取組みにより教職員の負担軽減が図られている。		
	課題等	校務支援システムは年度途中での導入であったため、従来の方法で行っていた4月からの生徒情報管理、出欠管理、成績管理、通知表・指導要録の作成について、年度途中で事務処理方法を変更した場合、データ再入力が必要となり教職員の負担が増加することから、令和7年度から本稼働することとした。教職員がシステム操作に慣れ、最大限活用できるよう研修会を実施していく。		

4－1－3 道徳教育の充実

11 五戸っ子宣言実践事業				
	概要	令和の五戸型教育の構築をめざし、これまで学校教育が果たしてきた教育の不易の部分を今一度確認し、来るべき時代で生き抜く資質・能力を育む基礎固めを目的に、めざす子ども像を明確にする「五戸っ子宣言」を策定しその宣言の内容について実践するものである。		
点検	各小中学校における「五戸っ子宣言」の実践	実績	・児童生徒がR4年度に策定、R5年度にパネルデザインを検討した「五戸っ子宣言」を印刷し、小中学校全7校の各教室及び町立施設に掲額。 ・各校のR6年度実践状況を取りまとめ。(R7年度教育大会で発表)	
	町内各小中学校において「五戸っ子宣言」の各項目が創意工夫のうえ実践された。 【実践例】 <ul style="list-style-type: none">・自分から笑顔で元気にあいさつをします →あいさつ運動・五戸の良いところを知るためにたくさんイベントに参加します →五戸まつりへの参加、桜沼ウォーク、手話教室の実施等・めあてに向かって協力していろいろなことに取り組みます →縦割り班活動の充実、各種学校行事における取組、美化運動・自分の考えや思いを相手にわかりやすく伝えます →始業式における目標発表・友達の良いところを見つけます →校内放送や掲示物で思いやり行動や頑張っていた人を紹介			
評価	策定して終わりではなく、小中学校の各教室や公共施設への掲額、実践状況を把握調査し発表する場を設けるなどし、風化させずに児童生徒に浸透させ続ける。			

4－1－4 食育の充実

12 学校給食地場産物活用推進事業			
概要	学校給食に地場産物を使用し、「生きた教材」として活用することにより、児童生徒が食材を通じて地域の自然や文化、産業等に理解を深め、地産地消並びに健全な食生活の実践に向けて食育の推進を図る。		
点検 計画	地産地消・食育の観点から、学校給食食材に地場産物や郷土料理を取り入れ、地元の食材や産業についての理解を深めると共に郷土の文化や伝統への関心を高める。	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・給食食材に地場産物（米・ながいも・にんにく・ごぼう・シャモロック・りんごジュース・馬肉・味噌・なんばんみそ等）を取り入れ、月1回、地場産物をたくさん使用した郷土料理（馬肉汁、せんべい汁、ひつみ）などを提供した。9月給食提供分から地元産の有機栽培された野菜（人参・玉ねぎ等）を使用し、バイキング給食にも使用した。 ・給食だよりや給食時間の校内放送を活用し、地場産物の紹介をすることにより、地元食材使用の周知を図った。 ・有機栽培や低農薬栽培をしている生産者が倉石小学校で、有機栽培された野菜について説明をしたり一緒に給食を喫食した。
成果	<p>地元産の有機栽培された野菜を取り入れたことにより、地場産物の使用量が令和5年度と比較し1.3%増加した。</p> <p>給食時間の指導中に児童生徒から、地元食材をたくさん使用したおんこちゃん給食についての発言があった時、地元産の農畜産物を身近に感じてくれていると感じた。これからも、地場産物や郷土料理について給食だよりや校内放送を活用し周知に努める。</p>		
評価 課題等	<p>食材調達は、安全安心な給食を確保する観点から、地元産の有機栽培された野菜を取り入れ、青森県産の食材を積極的に使用するよう努めたが、食材の価格高騰や有機栽培された野菜も一般的な野菜の価格よりも高額なため、当初予算内で給食を提供することが困難で補正予算を計上し給食を提供した。</p> <p>令和7年度は当初予算の食材費を増額し、児童生徒に安全安心な給食を提供できるように努める。</p>		

4－1－5 家庭・地域と連携した学校づくり

13 学校運営協議会事業			
点検	概要	学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や、保護者及び地域住民等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものである。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・各学校開催回数 2回以上 ・委員報酬等支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校推薦の63名に委員委嘱 ・各学校 2回以上開催 ・委員報酬等支給
評価	成果	<p>それぞれ立場の違う委員より様々な視点からの助言や意見をいただき、効果的に教育活動が進められている。</p> <p>また、地域と連携することにより信頼関係が深められ教育活動の向上につながっている。</p>	
	課題等	学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係をより一層深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んでいく。	

14 地域学校協働活動支援事業（R4.3月までは学校支援地域本部事業）

点検	概要	高齢者・成人・学生・保護者などの幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行う。	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 町内の学校2校に地域学校協働本部（旧学校支援センター）を設置する。2校に地域学校協働活動推進員（旧学校支援コーディネーター）を計5人配置する。 推進員が、学校とボランティアの調整に当たる。 	<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 五戸小学校、倉石小学校の2校に地域学校協働本部（旧学校支援センター）を設置している。2校に計5人の地域学校協働活動推進員（学校支援コーディネーター）を配置した。 推進員が、図書整備や学校田畠の整備等実施。それに伴い、地域住民がボランティアとして参画している。 <p>ボランティア参加者数 五戸小学校 141人 倉石小学校 27人</p>
評価	成果	<p>地域住民（ボランティア）が交流する貴重な機会であり、地域住民の親しみや教育に関する理解の促進が得られる場もある。</p> <p>多くの地域住民が学校と関わりを持つことが出来ている。令和7年度も引き続き国県補助事業として行う予定となっている。</p>	
	課題等	<p>推進員の資質向上と、教育委員会の協働による地域ボランティアのさらなる発掘や地域の理解が必要である。</p> <p>今後双方の特色ある活動を見学し、お互いを刺激し合うことが重要になる。</p>	

4－1－6 放課後の居場所づくり・青少年育成運動の推進

15 放課後子ども教室推進事業			
概要	放課後に学校の空き教室等を活用し、地域の方々の協力を得て、子ども達の安心・安全な活動拠点をつくり、スポーツや文化活動、地域住民との交流を通して、地域が一体となって心豊かでたくましい子ども達を育む環境づくりを目指す。開催日は、平日の放課後から17時頃まで。 (曜日や時間は実施校により異なる。) 年5回程度、土・日曜日を利用した体験活動を開催する。		
	五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校、上市川小学校の計4校で開催 ・定員 計60名 ・開催日数は平日計162日、土曜日等計8日、合計170日 ・放課後子どもプラン運営委員会開催2回	五戸小学校、倉石小学校、切谷内小学校、上市川小学校の計4校で開催した。	【受入人数】 五戸小 25名 倉石小 23名 切谷内小16名 上市川小30名 計94名 【開催日数】 五戸小 (平日) 61日 倉石小 (平日) 31日 切谷内小 (平日) 32日 上市川小 (平日) 27日 五戸小 (休日) 5日 休日体験活動 (全小学校共通) 6日 合計162日 ・放課後子どもプラン運営委員会開催2回
点検 計画	実績		
	成果	開催日数は目標値を下回ったが、万全の対策を行い、子どものあそび場や居場所の提供を実施した。 本事業は、地域の方々の協力により年齢の異なる子どもたちが一緒に工作、料理、自然学習、農作業、アウトドア体験等の様々な体験活動を行うものであり、普段家庭ではなかなかできない体験ができるということで参加児童の保護者からも好評を得ている。	
評価	課題等	学校の図工室等で活動しているが、夏場の活動になると気温が高く活動が十分にできていない教室が存在するのが現状である。6年度より各学校にスポットクーラーが配布されたので、子ども教室での課題点を学校側とも情報共有し熱中症対策に努めていく必要がある。	

施策4－1総括的評価

児童生徒が一人ひとりの個性と能力を伸ばし、生きる力と豊かな人間性の形成につながるよう、幼児教育や学校教育の教育環境の充実が図られているか、及び安全で安心な子どもの居場所づくりに向けて、みんなで子どもを守り育てる社会環境づくりが進められているか、関連する15事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

令和7年度からは「第3次五戸町総合振興計画」に沿って施策を実施していくことになるが、各事業の課題等を精査し、改善・発展に努めながら事業展開していく必要がある。

点検・評価助言委員の意見

1 幼児教育相談・就学相談事業

- 令和6年度からの新規事業である入学前のオープンスクールの成果等があれば教えてください。
- 臨床発達心理士の確保・育成が課題ということですが、何か対策はありますか？
- 相談事業において、教委と関係部署との連携構築ほか、オープンスクール実施を成果に挙げているが、現場（保護者・学校等）での評価・成果を示していただけますか。
- 従前よりの課題（専門知識を持つ人材確保・育成）のようですが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

2 学校施設維持管理事業

- 設置者として、児童・生徒の安全・安心な教育環境整備を継続してください。

3 特別支援教育支援員配置事業

- 支援が必要な児童生徒への教育環境整備のため、現状に満足せずさらなる充実に向けて取り組んでいただきたい。
- 従前より教職員と支援員の連携不足が課題としてあるが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

4 語学指導外国青年招致事業

- 小学校の教科化に伴い、「親しむこと」から「習得すること」への教員の意識転換が重要と考えます。その意味で専科教員等によるALTとの役割分担の明確化が大切だと思います。
- 現状に満足せず、さらなる充実に向けて取り組んでいただきたい。

5 奨学資金貸付事業

- 従前よりの課題「未納者とのやり取りが十分できていなかった部分があった」のようですが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

6 コミュニティバス通学対応事業

- 学校統合事業に伴い、保護者等住民の関心度が高い事業と考えます。通学環境整備は重要な課題ととらえ、現状の改善を図りながら関係部署と共に課題解決に取り組んでいただきたい。

7 G I G Aスクール構想推進事業

- 授業でのタブレット活用率はどのくらいですか？
- A I導入に関して、どのような考え方をお持ちかお聞かせください。
- 従前よりの課題「教員の活用格差」のようですが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

9 教育支援委員会事業

- 計画及び実績で、委員会並びに専門部会の回数が昨年と同等もしくは増加かしているのに、予算額及び決算額が減少しているのは何か理由がありますか？
- 新しい検査方式実施可能な人材確保への町独自の取組は何かありますか？
- 従前よりの課題「検査にかかる人材確保及び育成」のようですが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

10 教職員の働き方改革に係る取組

- 働き方改革により、教員の授業の質がより一層向上することを期待しています。
- 以前より懸案事項であった校務支援システムの導入は評価すべきと思います。教員の負担軽減が図られたことによる、目的である児童・生徒への教育活動充実度の評価は行っていますか。

12 学校給食地場産物活用推進事業

- 予算の範囲内で、安全・安心な給食提供に向け積極的な地場産物の活用の継続をしてください。

13 学校運営協議会事業

- 教育活動に効果をもたらした内容、地域と信頼関係が深まった内容等教えてください。また、取り組み事例等の情報共有等の機会を設けていますか？
- 具体的な課題について、教委と学校間で情報交換はされているのですか？

14 学校支援地域本部事業

- 五戸小、倉石小以外の学校は、支援事業の対象になっていないのでしょうか？
- 従前より「教委の協働による～」と課題にあるが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

15 放課後子ども教室推進事業

- 放課後子ども教室事業の実施内容に係る課題等はなかったのですか？

〈五戸町総合振興計画〉

策略4 – 2 生涯學習

- 生涯にわたる学習意欲に応えるために施設の充実を図り、各種研修・講習・学習会を積極的に開催します。
 - 生涯学習活動を通じて、新たな知識の習得や人との出会いの場となるよう、住民の学習ニーズへの柔軟な対応や気軽に楽しめる環境づくりに努めます。

【4-2-1 社会教育関連施設の充実】

※各施設に委ね実施

【4-2-2 図書館の利用促進】

【4-2-3 生涯学習プログラムの整備と提供】

【4-2-4 指導者の育成と団体等の活動支援】

※各種事業で働きかけ実施

【4-2-5 若い世代が参加しやすい社会教育の実施】

- 24 成人式「二十歳を祝う会」事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 26

【4-2-6 五戸町を深く知る取組の推進】

- 25 好きです五戸町ボランティア運動事業・・・・・・・・・・・・・ P27

【4-2-7 学習成果の活用】

- 26 ボランティア活動支援事業 ······ P 28

施策4-2総括的評価、点検・評価助言委員の意見・……………P29

4－2－2 図書館の利用促進

16 移動図書館事業				
	概要	遠隔地等により図書館を利用しにくい人たちのため、自動車に図書を積み込んで各地区と小学校等を巡回し図書の貸出しを行う。		
点検	計画	・地域巡回貸出冊数 1,000冊 ・学校等巡回貸出冊数 3,600冊	実績 ・月1回、5箇所を地域巡回とともに、小学校4校、放課後子ども教室、保育園、介護施設へ巡回を実施した。 ・地域巡回貸出冊数 963冊 ・学校等巡回貸出冊数 13,266冊	
	成果	<p>移動図書館により、地域を定期的に巡回することで利用者とのコミュニケーション図られ、リクエストやニーズに応じた貸出しをすることができ、読書の推進が図られた。</p> <p>なお、実績について地域巡回は新規利用者が少し増え、おおむね順調に貸出増に推移している。学校への巡回については、新型コロナウイルス感染症がまん延した時期の感染防止対策として、貸出方法が児童が自ら自動車内にある図書を選ぶのではなく、一定の冊数（一校あたり20～30冊）を各小学校に貸出しする方法に変更となったことや放課後子ども教室への巡回貸出を始めたことにより、計画より大きく上回っている。</p>		
評価	課題等	<p>地域巡回への貸出しについては既利用者の利用回数増のため、リクエストやニーズに応じた図書を選定していくことや新規利用者を増やすために移動図書館の周知に努めたい。</p> <p>また、学校への巡回については、車にある図書を自分で選ぶという楽しさが読書の推進につながると考えているが、学校側のニーズと乖離があり現状の貸出方法となっているため、学校と協議連携し、貸出方法について検討していくたい。</p>		

4-2-3 生涯学習プログラムの整備と提供

17 町民大学講座事業				
	概要	生涯学習の一環として町民へ学習機会を提供することを目的に、年間を通じて各分野の講師を招いて講演を行う。また、施設見学などの移動講座も行う。		
点検	計画	<ul style="list-style-type: none"> 開催講座数 10講座 開催回数 11回 受講者数 延べ330人 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 開催講座数 10講座 (うち1講座は移動講座) 開催回数 10回 受講者数 335人
	成果	令和6年度の講師については、大学の先生だけではなく、地元の方を講師として依頼したり、気象台といった普段は依頼しない事業所に従事している方を講師として招聘し開催した。また、スポーツに関する講座を開催し、モルック等のニュースポーツに係る体験講座も実施した。		
評価	課題等	<p>本事業より町民に広く周知するため、チラシの周知方法等について検討していく必要がある。</p> <p>また、ケーブルテレビを活用し、講座のアーカイブ配信を実施することによって、自宅でも視聴できるような環境を整えていく。</p>		

18 公民館講座事業				
	概要	<p>町民が生涯を通して充実した生活を送ることができるよう、公民館において町民一人ひとりの学習ニーズに対応する多種多様な講座で、受講者が作成などを行う学びの場や健康体操等を提供する。</p> <p>講座は、半年間を通して行う普通講座、2~3か月の期間で行う短期講座、川内・浅田・倉石の3地区の施設に出向いて行う移動講座がある。</p>		
点検	計画	<ul style="list-style-type: none"> 参加延べ人数 普通講座 800人 短期講座 100人 移動講座 60人 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 普通講座 513人 (チエアヨガ・笑いヨガ・ステンドグラスのある暮らし・味噌作り・色んな自家製発酵こうじ調味料作り・フラワーアレンジメント・ハーバリウムとエコクラフト・五戸菱刺し研究所・英会話) 短期講座 145人 移動講座 161人
	成果	公民館講座は、幅広い年代の町民が受講しており、普通・短期・移動の3種類の多様な講座を開講することで受講者同士の交流する場も増えやりがいや達成感を感じることにより日頃のストレス解消などにつながった。		
評価	課題等	短期・移動講座の新規受講者の加入を促進するため、町民の学習ニーズを調査し新たな講座の開講、特に日中の講座を希望されている方もあり、講座を楽しく参加できるような企画を検討する必要がある。		

19 公民館情報紙発行事業

点検	概要	公民館事業への理解と関心を深めるために、公民館事業の情報紙「おんこ」を作成し、自治会を通して毎戸配付や回覧をすることで、公民館の利用者数の増加を目指す。			
	計画	・「おんこ」の発行 ・年間利用者数 35,500人 ・年間利用件数 2,000件	実績	・公民館講座の開催についての情報などを発信するため、「おんこ」を発行した。 ・年間5回の「おんこ」を発行 ・年間利用者数 32,420人 ・年間利用件数 1,155件	
評価	成果	公民館情報紙「おんこ」を発行することで、公民館事業等を住民へ効果的にお知らせすることができ、また公民館利用者の利便性を高めることができた。			
	課題等	公民館情報紙「おんこ」と共に、町のホームページでの情報提供も続けていくが、現状では、紙面以外での情報入手が困難な状況にある方のためには依然として情報紙としての役割も大きい。 今後とも見やすい、解りやすい公民館情報紙をめざし、情報提供していく必要がある。			

20 文化賞・スポーツ賞等事業

点検	概要	町の芸術文化の分野において、優れた創作活動を行っている個人または団体に対し「文化功労賞、文化賞、文化奨励賞」を、また町の体育・スポーツの振興発展への功績及びスポーツ大会において優秀な成績を収めた個人または団体に対し「スポーツ功労賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞」を授与する。			
	計画	(令和6年度表彰者) ・文化賞 10人 ・文化奨励賞 30人 ・スポーツ賞 10人 ・スポーツ奨励賞 40人	実績	(令和6年度表彰者) ・文化賞 4人 ・文化奨励賞 17人 ・スポーツ功労賞 1人 ・スポーツ賞 24人 ・スポーツ奨励賞 25人	
評価	成果	令和6年度も教育大会が無事に開かれ、様々な分野で活躍した方々を讃えることができ、その内容が町の広報紙に掲載されることで、町民に広く活躍を知らせることができた。			
	課題等	受付時混雑する場面があった。効率よくスムーズに受付ができるよう団体ごとの受付を行うなど改善に努めたい。			

21 町民文化講演会事業				
点検	概要	町立公民館で講演会や演奏会などを実施することで、町民が芸術文化の関心を高めるとともに豊かな感性を育む機会を提供する。		
	計画	・スプリングコンサート ターンバック他 入場者総数 300人	実績 ・スプリングコンサート ターンバック他 入場者数 300人	
評価	成果	町民が芸術文化に関心を持ち心豊かな感性を育てるため、コンサート等を企画してきた。令和6年度はマーチングバンドのターンバックを中心とした、スプリングコンサートの開催となった。		
	課題等	スプリングコンサートは、ターンバックを中心として予算をかけずに開催されている。今後、多くの町民が楽しめる催しの企画は、予算措置も含め難しい状況であるが検討していく必要がある。		
22 町文化協会支援事業				
点検	概要	町文化協会の事務局を町立公民館で担当、協会運営と文化団体の事業の推進を図るとともに、町の芸術文化団体相互の交流などの活動を支援するために、町文化協会へ町補助金を交付する。		
	計画	・文化協会加入団体数 51団体 ・産業と文化祭り参加数 33団体・5個人 ・芸能発表会参加数 10団体・個人 ・町補助金の交付	実績 ・文化協会加入団体数 50団体 ・文化祭り参加数 36団体 ・芸能発表会参加数 15団体 ・町補助金を交付 ・文化財等の清掃奉仕	
評価	成果	補助金の交付を受け、視察研修の実施や発表会への参加など、町の文化団体組織の活性化と芸術文化が図られている。令和6年度は各種研修旅行や交流会を5年ぶりに実施した。 例年行っている根岸三十三観音の草刈り奉仕作業については、各種文化財の関係者と連携し、奉仕作業を行った。		
	課題等	今後も協会運営と文化団体の事業の推進が図られるよう支援していく。		

23 あいさつ運動事業

点検	概要	町内に気持ちの良いあいさつが響きわたるよう家庭、学校、職場をとおして本運動を展開し、「あいさつ日本一のまちづくり」を目指すものである。		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施 ・標語等の募集、活用及び表彰 ・広報ごのへまちの活用 ・その他啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施 五戸町内の小・中学校を数日間にわたって回り、各学期の初め頃（4月・8月・1月）に実施した。 ・標語等の募集、活用及び表彰 あいさつ標語コンクールを開催。 ・広報ごのへまちの活用 標語等の優秀作品の掲載を毎月広報ごのへまちに掲載。 	
評価	成果	あいさつ運動を実施したり、あいさつ標語コンクールを開催することによって、五戸町の各小・中学生の”あいさつ”に対する高い意識づけをさせることができた。町内でも子ども達があいさつしている光景を目にし、本活動の効果が見受けられている。		
	課題等	<p>今年度もあいさつ運動関連の行事は小・中学生を中心に実施したが、今後の課題としては町全体をあいさつによって活気づけられるかというところだと考える。</p> <p>各種イベント等にのぼり旗の設置や啓発ポスター等を作成し周知していくたい。</p>		

4-2-5 若い世代が参加しやすい社会教育の実施

24 成人式「二十歳を祝う会」事業				
	概要	二十歳になる新成人の町民を対象に式典を行う。 式典の企画運営は、新成人たちが自ら実行委員会を組織して検討・実施する。 また、新たな取り組みとして「町長と語るつどい」を企画し、若者と町長が様々な議題に関して、語り合う場を創出する。		
点検	計画	<ul style="list-style-type: none"> 新成人の参加率（参加者／対象者） 45% 	実績 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度成人式（令和7年1月12日）は参加率 52.9% であった。 「町長と語るつどい」の開催 参加人数：16名 	
	成果	6年度の参加率50%を超える結果となった。実行委員会の打ち合わせも滞りなく進み、新成人にとってとても良い式になった。		
評価	課題等	例年、実行委員会は新成人により構成されることから、より良い事業とするために過去の成人式対象者や実行委員経験者に参加してもらう等、広く人材を募集し開催経験を継承していく必要がある。		

4－2－6 五戸町を深く知る取組の推進

25 好きです五戸町ボランティア運動事業				
	概要	主に若者世代を中心とした、ボランティア人材登録制度を整備し、町や自治会等の町内団体が主催する活動やイベント等における「人手が欲しい（足りない）ニーズ」と地域のため「ボランティア活動に参加したいニーズ」をマッチングする。		
点検	計画	・ボランティア人材登録者数 70名 ・ボランティア派遣件数 10件	実績 ・ボランティア人材登録者数 120名 ・ボランティア派遣件数 5件	
	成果	町の事業にも積極的に活用することで、本事業の周知にもつながっている。		
評価	課題等	メールにてボランティアの実施について連絡をしているが、ボランティア登録者に対して周知をうまく行えていない状況である。登録者や実施回数も目標値より下回っているためSNS等活用も視野にいれ今後の周知方法について検討していきたい。		

4－2－7 学習成果の活用

26 ボランティア活動支援事業				
点検	概要	<p>町内の各分野における特技を持った人材を生かし、町民の社会参加の場を提供するとともに、地域ぐるみの教育を目指した「学校等支援ボランティアバンク」にボランティアで活動する人をリストに登録し、学校等からの求めに応じて人材を紹介する。</p> <p>登録の更新は、2年ごとに行う。</p>		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 登録人数 30人 登録件数 10件 活動件数 10件 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 登録人数 54人 登録件数 28件 活動件数 0件
評価	成果	6年度は登録人数が前年度より増えているが、活動できていない状況である。		
	課題等	6年度は活動実績を残すことができなかった。課題としてボランティア事業が複数存在するということが影響していると考える。7年度は事業内容を変更、改良することも視野に入れ検討していきたい。		

施策 4－2 総括的評価

生涯にわたる学習意欲に応えるために施設の充実を図り、各種研修・講習・学習会を積極的に開催しているか、及び生涯学習活動を通じて、新たな知識の習得や人との出会いの場となるよう、住民の学習ニーズへの柔軟な対応や気軽に楽しめる環境づくりに努めているか、関連する11事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

令和7年度からは「第3次五戸町総合振興計画」に沿って施策を実施していくことになるが、各事業の課題等を精査し、改善・発展に努めながら事業展開していく必要がある。

点検・評価助言委員の意見

17 町民大学講座事業

- 実績の受講者数が令和5年度191人から令和6年度335人と大幅に増加していますが、その要因は何かありますか？
- 多様な分野にわたって講座開設することは、受講する住民にとってとても有意義と考えます。講師の選定・調整は苦労することだと思いますが続けていただきたいと思います。

18 公民館講座事業

- 短期講座、移動講座の実績が大幅に増加した理由は何かあるのでしょうか？また、実績の向上に対して、成果と課題等が令和5年度と全く同じでよろしいのでしょうか？
- 従前より「町民のニーズ調査・日中の講座開設」と課題にあるが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

19 公民館情報誌発行事業

- 実績を見ると年間利用件数が減少しているのに、年間利用者数が増加しているということは、1回の事業に参加する人数が増加していると思いますが、そのことと情報誌の発行回数との関連をどのようにみておられますか？
- 利用者によって情報の入手方法が異なると思うので、情報発信方法の検討も必要ではないでしょうか？
- 年間発行2回から5回に増えたことは評価できると考えます。

21 町民文化講演会事業

- 今後も事業を続けていくのであれば、しっかりと予算措置をするべきと考えます。
- 従前より「予算措置」の課題があるようですが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。予算不足を理由にすることなく限られた条件の中でより良い企画・立案・実施していくことが逆に予算獲得へ繋がると考えますが如何ですか。

22 町文化協会支援事業

- 従前より「協会運営・団体の事業推進支援」と課題にあるが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

23 あいさつ運動事業

- 従前よりの課題ですが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

24 成人式「二十歳を祝う会」事業

- 令和6年度は、課題等にある過去の成人式対象者や実行委員経験者の実行委員会への参加はあったのでしょうか？
- 従前より「過去の実行委員経験者の参加」の課題があるようですが、事業実施に当たり、教委は毎年実行委との連絡調整を行い、過去の実施内容・課題等を把握しているものと思いますが、その結果を基に当該実行委へ指導助言などできないのですか。

25 好きです五戸町ボランティア運動事業

- 実績（派遣5件）とありますが、派遣要請は同数と理解しよろしいですか。
- 派遣要請増＝派遣件数増につながりますが、要請する側への事業周知などの活動はどのようなことを実施しているのですか。

26 ボランティア活動支援事業

- 令和5年度、令和6年度とも活動実績が無いというのは、事業の趣旨がしっかりと伝わっていない可能性が考えられます。校長会等を利用して学校側にその趣旨等を理解してもらい活用してもらうことが必要ではないでしょうか？
- 従前よりの課題があるようですが、活動実績・状況を踏まえ、事業の統合・廃止を含め見直しするべきと考えます。

〈五戸町総合振興計画〉

施策4－3 スポーツ・レクリエーション

- 住民がそれぞれの年齢、趣味、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、指導者の育成や施設・設備の改修等、安全に利用できる環境づくりを進めます。
- スポーツ・レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流機会となるよう、気軽に参加できる機会づくりに努めます。
- 住民が自身の健康づくりの一環として行うことができる年齢層に応じた生涯スポーツの普及促進に努めます。

【4－3－1 多様なスポーツ活動の普及促進】

- 27 スポーツ推進委員事業 ······ P 3 2
- 28 生涯スポーツ振興事業等委託事業 ······ P 3 3
- 29 スポーツクラブ育成事業 ······ P 3 4
- 30 スポーツ大会出場祝金事業 ······ P 3 4
- 31 町民運動会事業 ······ P 3 5

【4－3－2 指導者の育成・確保】

※各種事業所に働きかけ実施

【4－3－3 スポーツを通した交流の促進】

※各種事業で働きかけ実施

【4－3－4 スポーツ環境の整備】

- 32 スポーツ施設の管理事業 ······ P 3 6

施策4－3総括的評価、点検・評価助言委員の意見 ······ P 3 7

4－3－1 多様なスポーツ活動の普及促進

27 スポーツ推進委員事業				
	概要	町のスポーツの推進のため、熱意と能力のある住民をスポーツ推進委員として町教育委員会が委嘱し、社会体育事業の企画・運営をしてもらう。また、その他の団体のスポーツ行事・事業に協力及び指導助言をしてもらう。		
点検	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会・登山・歩こう会の企画運営への参画 ・各種スポーツ大会への協力 ・委員の行事等への延参加者数 50人 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員は、町民登山、歩こう会及び町民運動会の企画運営に参画した。 <p>各種事業出席人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人スポーツ大会 2人 ・町民登山 8人 ・町民歩こう会 9人 ・町民運動会 中止 (14名) ・青森県スポーツ推進委員研修会 3人 ・三八スポーツ推進委員研修会 4人 ・三八地区地域スポーツ事業 8人 	
評価	成果	スポーツ推進委員は、専門的な知識と行動力で町の事業に参画するなどスポーツの振興に寄与した。スポーツ推進員なしでは、町民運動会、町民登山及び歩こう会の円滑な計画立案・実施は難しいといえる。令和6年度は町民運動会が悪天候のため中止となり、各種事業に対する参加者数の合計は34人（町民運動会参加予定者含まない）で目標に対する68%の達成率であった。		
	課題等	委員多忙により県や三八地域の研修会への参加者減少している。会議など集まりの際に、研修に出席した委員から学んだことを共有するなど工夫しながら、委員のスキルアップを図っていきたい。		

28 生涯スポーツ振興事業等委託事業

概要	「町民一人1スポーツ」を奨励し、心身ともに健康で豊かな生活を送るため、生涯スポーツを推進することを目的に、誰もが気軽に参加できる各種スポーツ大会や運動教室の実施についての企画、運営を（公財）五戸町スポーツ振興公社に委託している。		
	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4, 265人 県民スポレク祭派遣 1回 開催スポーツ大会数 5回 開催教室数 3回 各種講習会・支援事業 5回 登山参加者 30人 歩こう会参加者 30人 		
点検	<ul style="list-style-type: none"> 県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業 <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の実施内容 選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート 練習会等回数 30回 練習会参加者数 30人 スポーツ少年団本部事業 <ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付 登録指導者予定数 30人 登録団員数 200人 (合計 230人) 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会及び教室等の参加者数 4, 394人 県民スポレク祭派遣 1回 開催スポーツ大会数 8回 開催教室数 4回 各種講習会・支援事業 42回 登山参加者 (岩手県早池峰山) 21人 歩こう会参加者 (秋田県秋田八幡平) 61人 <p>県民駅伝競走大会五戸町実行委員会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の実施内容 選手選考、練習スケジュールの作成と実施、試走会、大会当日の選手サポート 練習会等回数 28回 練習会参加者数 22人 <p>スポーツ少年団本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ少年団本部へ補助金を交付した。 登録指導者数 38人 登録団員数 134人 (合計 172人)
評価	<p>成果</p> <p>生涯スポーツ振興事業等は、専門的な知識や技術を持つ事業者へ委託している。民間ならではの発想力や企画力を發揮し、多彩な大会やイベントが実施されるなど継続してスポーツ活動の場を提供することができたことにより、多くの町民がスポーツに親しむことができた。</p> <p>課題等</p> <p>参加者数が減少している教室や講習会については、事業内容の見直しや新たなイベントを企画するなど、新規参加者を呼び込むための対策が必要である。</p>		

29 スポーツクラブ育成事業

点検	概要	幼児から一般まで幅広い年齢層で、多様な競技を選択できるように地域に根ざした、総合型地域スポーツクラブの育成と、スポーツを通じた町の活性化を目指し、スポーツクラブを運営している（公財）五戸町スポーツ振興公社へ、スポーツクラブ強化事業、指導者育成事業、スポーツ教室開催事業分として補助金を交付する。 ・スポーツクラブは、スクールコースと育成コースの2つのコースを設けている。スクールコースには、サッカー（U-8、ガールズ、レディース）、ソフトテニス、こども運動遊び教室の3部門があり、育成コースでは、サッカー（U-10、U-12、U-15）とバスケットボール（U-12男／女）の2競技を実施している。		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業参加者 1,500人 補助金の交付 クラブ大会出場数 30回 指導者育成事業 2回 スポーツ教室・イベント事業は生涯スポーツ事業と共に催で実施する。 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 事業参加者 775人 クラブを運営しているスポーツ振興公社へ補助金を交付した。 クラブ大会出場数 32回 指導者育成事業 3回 スポーツ教室・イベント事業は生涯スポーツ事業と共に催で実施した。
評価	成果	運営組織の（公財）五戸町スポーツ振興公社に町が補助金を交付することで、公社は強化事業、指導者育成事業、イベント開催事業を展開した。強化事業では、スクールコースと育成コースの2コースを実施。育成コースではサッカー競技、バスケットボール競技のチーム活動を行い、各種大会に参加している。		
	課題等	<p>スポーツクラブの事業拡大に伴う育成コースの指導者不足や少子化による会員数減少が課題である。</p> <p>また、町教育委員会では、令和4年度より「五戸町立中学校部活動の在り方に関する検討委員会」を設置し、中学校部活動の地域移行に向けた検討を開始しており、国・県等の動向及び検討委員会の意見等を踏まえながら、今後のスポーツクラブの方向性など検討していく必要がある。</p>		

30 スポーツ大会出場祝金事業

点検	概要	小・中学生のスポーツ競技力の向上と支援を目的に、予選を経て東北大会及び全国大会に出場した小・中学生の保護者及び監督・コーチに対し、出場に際する負担を軽減するため、東北大会出場者へは10,000円以内、全国大会出場者へは20,000円以内（合わせた限度額は20,000円）の祝金を支給する。		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 東北大会 7人 全国大会 4人 	実績	<ul style="list-style-type: none"> 東北大会 8人 全国大会 25人
評価	成果	出場祝金を支給することで、予選を勝ち抜いて上位の大会へ出場した小・中学生の保護者及び監督・コーチの負担を軽減することができた。		
	課題等	学校やスポーツ少年団、スポーツクラブ等へ、祝金制度についての周知や声かけを行い、対象者がいたら早めに申請してもらったり、申請漏れがないか確認したりする必要がある。		

31 町民運動会事業

点検	概要	町民の健康増進や親睦を図るために、全町内で自治会または地区ごとにチームを作り、子どもから老人までが参加できる様々な競技で得点を競う。唯一の全町をあげたスポーツイベントとなっている。	
	計画	・参加チーム数 14チーム ・延来場者数 1,300人	悪天候のため中止 実績
評価	成果	町民運動会は、町内の全地区が参加し、スポーツを通じて地域の結団と親睦を図るとともに、三沢基地所属のアメリカ海軍チームを特別招待することで、国際交流の推進を図っている。令和5年度から各チームの代表者やスポーツ推進委員、教育委員会から成る「プロジェクトチーム」を組織し、令和6年度の町民運動会に向けて合計3回の会議を行い、開催に向けて準備していたが、悪天候のため中止となった。	
	課題等	少子高齢化や人口減少に伴い選手の確保が難しくなっているチーム（自治会）が多くなってきている。また、地域行事への参加意欲が低下しつつある。今後自治会の方々やプロジェクトチームに参加している方々の意見を踏まえたうえで、少しでも町民が参加しやすいようなチーム編成の柔軟化や参加動機の強化、学校や地域団体との連携など工夫をしていく必要がある。	

4-3-4 スポーツ環境の整備

32 スポーツ施設の管理事業

概要	ひばり野公園（陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート、プール）、屋内トレーニングセンター、スポーツ交流センター及び倉石スポーツセンターの施設を町民のスポーツ活動の場として提供しており、町民が利用しやすい施設とするために施設管理を指定管理者に委託している。また、利用者が安全に安心して利用できるように、施設の不良箇所の修繕を行う。																																
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひばり野公園陸上競技場管理棟トイレ洋式化改修工事 ・町民プールろ過機ろ材交換工事等 <table> <tr> <td>・施設利用者数</td> <td></td> <td>・施設利用者数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひばり野公園</td> <td>45,000人</td> <td>ひばり野公園</td> <td>48,637人</td> </tr> <tr> <td>五戸ドーム</td> <td>27,000人</td> <td>五戸ドーム</td> <td>35,325人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ交流センター</td> <td>8,000人</td> <td>スポーツ交流センター</td> <td>11,637人</td> </tr> <tr> <td>倉石スポーツセンター</td> <td>8,000人</td> <td>倉石スポーツセンター</td> <td>7,224人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小渡平公園</td> <td>7,265人</td> </tr> </table>			・施設利用者数		・施設利用者数		ひばり野公園	45,000人	ひばり野公園	48,637人	五戸ドーム	27,000人	五戸ドーム	35,325人	スポーツ交流センター	8,000人	スポーツ交流センター	11,637人	倉石スポーツセンター	8,000人	倉石スポーツセンター	7,224人			小渡平公園	7,265人						
・施設利用者数		・施設利用者数																															
ひばり野公園	45,000人	ひばり野公園	48,637人																														
五戸ドーム	27,000人	五戸ドーム	35,325人																														
スポーツ交流センター	8,000人	スポーツ交流センター	11,637人																														
倉石スポーツセンター	8,000人	倉石スポーツセンター	7,224人																														
		小渡平公園	7,265人																														
点検 計画	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数 <table> <tr> <td>ひばり野公園</td> <td>45,000人</td> <td>ひばり野公園</td> <td>48,637人</td> </tr> <tr> <td>五戸ドーム</td> <td>27,000人</td> <td>五戸ドーム</td> <td>35,325人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ交流センター</td> <td>8,000人</td> <td>スポーツ交流センター</td> <td>11,637人</td> </tr> <tr> <td>倉石スポーツセンター</td> <td>8,000人</td> <td>倉石スポーツセンター</td> <td>7,224人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小渡平公園</td> <td>7,265人</td> </tr> </table>	ひばり野公園	45,000人	ひばり野公園	48,637人	五戸ドーム	27,000人	五戸ドーム	35,325人	スポーツ交流センター	8,000人	スポーツ交流センター	11,637人	倉石スポーツセンター	8,000人	倉石スポーツセンター	7,224人			小渡平公園	7,265人	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数 <table> <tr> <td>ひばり野公園</td> <td>48,637人</td> </tr> <tr> <td>五戸ドーム</td> <td>35,325人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ交流センター</td> <td>11,637人</td> </tr> <tr> <td>倉石スポーツセンター</td> <td>7,224人</td> </tr> <tr> <td>小渡平公園</td> <td>7,265人</td> </tr> </table>	ひばり野公園	48,637人	五戸ドーム	35,325人	スポーツ交流センター	11,637人	倉石スポーツセンター	7,224人	小渡平公園	7,265人
ひばり野公園	45,000人	ひばり野公園	48,637人																														
五戸ドーム	27,000人	五戸ドーム	35,325人																														
スポーツ交流センター	8,000人	スポーツ交流センター	11,637人																														
倉石スポーツセンター	8,000人	倉石スポーツセンター	7,224人																														
		小渡平公園	7,265人																														
ひばり野公園	48,637人																																
五戸ドーム	35,325人																																
スポーツ交流センター	11,637人																																
倉石スポーツセンター	7,224人																																
小渡平公園	7,265人																																
成果	<p>ひばり野公園、屋内トレーニングセンター、スポーツ交流センター及び倉石スポーツセンターは、（公財）五戸町スポーツ振興公社と指定管理委託を締結することで、経費の節減ときめ細かな施設の管理及び利用者の利便性の向上を図ることができた。（指定管理期間は令和4年度から令和6年度まで）</p> <p>また、予定した各種工事は予定どおり実施し、施設の良好な管理ができた。</p> <p>施設利用者数については、コロナ禍で中止を余儀なくされていたイベントや行事も再開できしたことから利用者も多く、ひばり野公園・五戸ドーム・スポーツ交流センターは目標数値を上回る利用者数となった。</p>																																
評価 課題等	<p>ひばり野公園は開園から30年以上が経過し、各施設や設備の老朽化が進む中で各個改修を進めている状況である。令和8年度には青森国スポーツサッカー競技の一部がひばり野公園で実施される予定であることから、財政担当課や関係機関と協議して計画的な予算措置が必要である。</p> <p>その他施設設備の突発的な故障にも対処が必要となっている。</p>																																

施策4－3総括的評価

住民がそれぞれの年齢、趣味、体力に応じたスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、指導者の育成や施設・設備の改修等、安全に利用できる環境づくりを進めているか、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流機会となるよう、気軽に参加できる機会づくりに努めているか、及び住民が自身の健康づくりの一環として行うことができる年齢層に応じた生涯スポーツの普及促進に努めているか、関連する6事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

令和7年度からは「第3次五戸町総合振興計画」に沿って施策を実施していくことになるが、各事業の課題等を精査し、改善・発展に努めながら事業展開していく必要がある。

点検・評価助言委員の意見

27 スポーツ推進委員事業

- 令和5年度から課題等にあるいわゆる伝達講習的研修は、行われたのでしょうか？
- 従前より同じ課題を掲げていますが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

28 生涯スポーツ振興事業等委託事業

- 委託事業とはいえ、時には町が積極的に参画するべき場面があると考えますがどの様な関わり方をしていますか。
- 従前より同じ課題を掲げていますが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

29 スポーツクラブ育成事業

- 社会情勢かつ、クラブの受け入れ環境に合わせた活動計画を調整する必要がありませんか。
- 部活動の地域移行は、町の教育環境整備の課題であり、スポーツクラブだけの課題ではないと認識しています。非常に困難な課題ですが「検討委員会」の議論に注視しながら、受け入れ環境について取り組むべきと考えます。

30 スポーツ大会出場祝金事業

- 引き続き、継続してほしいと考えます。

31 町民運動会事業

- 社会情勢・各町内の現状等を含め課題はありますが、住民が集う唯一の町のイベントを継続するため、時間がかかると思いますが我慢強く地域住民とともに参加しやすいイベントへ育てていただきたい。

3.2 スポーツ施設の管理事業

- 委託事業ですが、設置者として安全安心なスポーツ環境整備に向け、指定管理者と共に課題解決に取り組んでいただきたいと考えます。

〈五戸町総合振興計画〉

施策4-4 地域文化の振興

- 本町の自然、歴史、文化等の郷土に関する文化財の保護に努めるとともに、先人が残した郷土の貴重な文化財を地域資源として有効活用できるよう保護体制の充実を図ります。
 - 学校教育・生涯学習活動を通じて、地域の文化や歴史に対する住民の関心を高める取り組みを推進し、町内の地域文化と郷土芸能を後世に残す取り組みを支援します。

【4-4-1 保存団体、指導者の育成】

【4-4-2 文化財の保存活動の推進】

【4-4-3 文化財の活用】

- 3 6 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業 · · · · · P 4 3
3 7 ごのへ郷十館管理事業 · · · · · P 4 3

施策4-4総括的評価、点検・評価助言委員の意見・・・・・・・・ P44

4-4-1 保存団体、指導者の育成

33 文化まつり事業		
	概要	文化活動を行っている団体、個人が、公民館を会場に発表を行う。
点検	・参加団体数 50団体	出展、出店団体数 36団体 芸能発表団体数 15団体 計参加団体数 51団体
	計画	実績
評価	<p>文化まつりは、町民の日ごろの活動成果を発表したり親しんだりする貴重な機会で、令和6年度は芸能発表団体が5団体も増えたことにより、団体同士のつながりがさらに広まった。</p> <p>開催にあたっては、出展側のニーズを踏まえたうえでさらに訪問客が利用しやすいように計画するかが問われている。 ステージ発表の団体数や構成も含め工夫していきたい。</p>	
	成果	
	課題等	

4-4-2 文化財の保存活動の推進

34 町文化財管理事業				
点検	概要	<p>町所有の文化財の整理作業を実施するため、専従職員3名体制とし、未整理文化財の整理作業を行う。関係機関やボランティア（文化財保護審議委員）の協力を得て未整理文化財調査を行う。</p> <p>開発等に伴う遺跡調査を実施し、遺跡の適切な保存に努める。</p> <p>文化財関係資料の貸出等に対応し、町内文化財の周知に努める。</p>		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 未整理文化財調査日数 10日 町有文化財環境整備回数 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 未整理文化財調査日数 22日 町有文化財環境整備回数 3回 (腐朽菌防除、草刈) 	
評価	成果	<p>町文化財の整理成果を周知することにより、町民及び県内外の関係者への町の歴史理解に寄与した。</p> <p>町関係の文化財寄贈に対応し、受入れ及び整理作業を実施した。弘前大学及び町文化財保護審議委員の協力を得て、古文書及び江渡狄嶺関係資料の資料調査を実施した。</p> <p>県指定天然記念物「わむら（上村）のカシワ」の腐朽菌防除、町指定文化財「大学沢の追分石」周辺草刈作業を行い、適切な管理に努めた。</p> <p>埋蔵文化財、写真等資料の貸出により町内の文化財の魅力を発信することができた。</p> <p>開発等に伴う遺跡調査等は、個人住宅建築に伴う試掘調査を1件実施した。</p>		
	課題等	<p>既存の未整理の文化財に加えて、近年は文化財の寄贈申し込みの事例が増えているため、今後も継続的に事業を実施する必要がある。</p> <p>天然記念物（樹木）については、定期的に枝折れ、倒木等の危険がないか確認する必要がある。また、各種新規指定文化財候補の調査等を積極的に行い、文化財の保存活用に努めることも必要である。</p>		

35 伝統芸能継承活動事業

点検	概要	小学生に対し、伝統芸能に触れる機会をつくるとともに、継承活動を進める。学校で行う伝承活動について、必要に応じて指導者への謝金や道具の修繕などの支援をする。		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 指導回数 40回 発表回数 3回 	<p>実績</p> <p>五戸小学校の児童が和太鼓（五戸太鼓）を通常は月2回程度、長期休暇等は月5回程度の活動を行っている。発表については1回（学習発表会）行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導回数 42回 発表回数 1回 	
評価	成果	伝統芸能継承活動は、小学生の伝統芸能への理解に寄与した。また、地域の子どもに伝統芸能の指導が行われることで伝統芸能の普及発展に寄与した。		
	課題等	児童数の減少や習い事の増加等によって伝統芸能を実践する児童が減少している。関係機関の協力を得ながら、伝統芸能等を体験する機会の増加させる取り組みが必要である。（令和7年度から任意団体による活動へ移行するため、本事業は令和6年度をもって終了とした。）		

4-4-3 文化財の活用

36 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業				
点検	概要	<p>青森県重宝に指定されている「旧圓子家住宅」の管理及び見学者への公開を行うことにより、文化財保護への理解を深め、五戸町の歴史を後世に伝えていく。</p> <p>会計年度任用職員1名を雇用して管理・清掃を行う。</p>		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 管理実施日数 70日 見学者数 50人 	<ul style="list-style-type: none"> 実績 	<ul style="list-style-type: none"> 管理実施日数 78日 見学者数 63人
評価	成果	<p>見学者への公開によって町民の郷土史理解の深化に寄与した。</p> <p>パンフレットを活用し、町内外へ当該文化財を周知することができた。</p> <p>消防設備点検を実施し、法令に基づき保存環境の適正化を推進した。また、門控柱修繕やトイレ屋根改修工事等を実施し、周辺環境を整備することができた。</p>		
	課題等	<p>文化財である旧圓子家住宅の保存と有効活用を両立させるため、適正な管理と文化財的価値の周知を効果的に実施することが課題である。</p>		
37 ごのへ郷土館管理事業				
点検	概要	<p>旧豊間内小校舎を利活用した「ごのへ郷土館」を指定管理者と協力して施設の維持管理や活用に努める。</p>		
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 式典 1回 利用者延べ人数 10,000人 特別展示及び 体験イベント 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 実績 	<ul style="list-style-type: none"> 式典 1回 利用者延べ人数 14,898人 特別展示及び 体験イベント 3回
評価	成果	<p>指定管理者が中心となり、6月23日に開館6周年式典を実施した。</p> <p>特別展示は6月～9月に教育課の企画で企画展「五戸町有古文書調査速報 古文書から見えるすこし昔の五戸」、9月～12月に企画展「小学校自由研究作品展」を実施し、見学者の増加に努めた。伝統工芸体験イベントは開館6周年記式典に併せて実施した。</p> <p>指定管理者の自主事業（南部鉄道ウォーク、小正月行事等）の実施もあり、利用者延べ人数は計画数を上回ることができた。</p>		
	課題等	<p>今年度は開館7年目となり、DC351の話題も徐々に少なくなっている。この様な状況を中でも利用者数の維持増加を図るため、指定管理者と協力して展示替えや特別展示の実施、SNS等を活用した広報を積極的に実施することが求められる。</p> <p>管理については、指定管理者と情報を共有し、適切な管理、施設の有効利用に努める必要がある。</p>		

施策4－4総括的評価

本町の自然、歴史、文化等の郷土に関する文化財の保護に努めるとともに、先人が残した郷土の貴重な文化財を地域資源として有効活用できるよう保護体制の充実を図っているか、及び学校教育・生涯学習活動を通じて、地域の文化や歴史に対する住民の関心を高める取り組みを推進し、町内の地域文化と郷土芸能を後世に残す取り組みを支援しているかについて、関連する5事業をピックアップし点検した結果、概ね成果を得られているものと評価される。

令和7年度からは「第3次五戸町総合振興計画」に沿って施策を実施していくことになるが、各事業の課題等を精査し、改善・発展に努めながら事業展開していく必要がある。

点検・評価助言委員の意見

33 文化まつり事業

- 従前より同じ課題を掲げていますが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

34 町文化財管理事業

- 従前より同じ課題を掲げていますが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

36 県重宝「旧圓子家住宅」管理事業

- 従前より同じ課題を掲げていますが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

37 このへ郷土館管理事業

- 従前より同じ課題を掲げていますが、課題解決に係る取組内容及び進捗状況を説明願います。

参考資料

◇児童生徒数の推移

学校名	R 4年度 児童生徒数 (人)	R 5年度 児童生徒数 (人)	R 6年度 児童生徒数 (人)	R 7年度 児童生徒数 (人)	R 7年度 学級数 (学級)
五戸小学校	361(17)	357(15)	357(17)	357(19)	16(4)
切谷内小学校	54(5)	50(6)	52(7)	38(8)	6(2)
上市川小学校	81(1)	78(2)	78(2)	73(4)	8(2)
倉石小学校	81(2)	76(2)	71(3)	69(5)	8(2)
小学校計	577(25)	561(25)	558(29)	537(36)	38(10)
五戸中学校	190(7)	192(15)	186(16)	177(11)	9(3)
川内中学校	84(2)	76(3)	75(5)	65(3)	5(2)
倉石中学校	44(2)	51(3)	46(1)	44(2)	5(2)
中学校計	318(11)	319(21)	307(22)	286(16)	19(7)
合 計	895(36)	880(46)	865(51)	823(52)	57(17)

※ () は、特別支援の数 (内数)

◇令和6年度 教育委員会開催状況

R 6. 4.11 第1回 定例会開催	R 6. 10.28 第7回 定例会開催
R 6. 5.28 第2回 定例会開催	R 6. 11.20 第8回 定例会開催
R 6. 6.28 第3回 定例会開催	R 6. 12.18 第9回 定例会開催
R 6. 7.26 第4回 定例会開催	R 7. 1.27 第10回 定例会開催
R 6. 8.22 第5回 定例会開催	R 7. 2.21 第11回 定例会開催
R 6. 9.19 第6回 定例会開催	R 7. 3.25 第12回 定例会開催